



松中だより

21世紀を生きる子どもたちのウェルビーイングを目指して

学校だより 第10号
令和8年2月19日

千葉市立松ヶ丘中学校

自然教室を終えて

スローガン

楽学両道 ～最高の仲間と 最高の成長を！～

実行委員長 2年1組

私はこの自然教室を通して、実行委員長を務める中で3つの大きな成長を遂げることができました。1つ目は「責任感」です。これまでは人任せな部分もありましたが、実行委員として自分の役割を果たすだけでなく、周りへの気配りも意識したことで、人間として一回り成長できたと感じています。2つ目は「協力する力」です。リーダー会議などで意見を出し合って解決策を考えたり、皆が楽しく過ごせるよう声を掛け合ったりと、仲間と力を合わせる大切さを学びました。3つ目は「感謝の心」です。インストラクターの方々や先生方、多くの方々の支えがあってこの行事ができたことに感謝し、「ありがとうございます」という挨拶を誰よりも徹底して行いました。

最初は実行委員長を務めることに不安もありましたが、それを乗り越えた今、大きな活動力と自信を得ることができました。頑張った分だけ自然教室を心から楽しむことができ、無事に終わられたことに深いやりがいを感じています。今では、実行委員長をやって本当に良かったと心から思っています。最後に、この自然教室が私にとって最高のものになったのは、みなさんが協力してくれたおかげです。本当にありがとうございました。



千葉市小・中・中等教育・特別支援学校 児童生徒作品総合展覧会第2部

日頃の学習の成果発表の場として、1月24日（土）から2月1日（日）まで、「第68回千葉市小・中・中等教育・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会第2部」が千葉市美術館で開催されました。総合展覧会第2部は、「書写」「図画工作・美術」「家庭、技術・家庭」「特別支援教育」の4つの部門で構成されています。本校から出品した作品の中から、「教育長賞」「推奨」の作品をご紹介します。



教育長賞 美術 石の彫刻 3年2組

「自分とは何か」迷いつつ、成長する自分を決して真っ直ぐではなく、歪みながら、捻じれながら、上へ上へと伸びていくイメージを形にしました。できる限り直線的な形は用いず、どの方向から見ても、美しく迫力のある形を探して石を削り進めていきました。最後は鏡面になるまで光らせることを目標に細かい傷を消し丹念に磨いて完成させました。



推奨 美術 スクラッチ絵皿 3年4組

世界の海を自由に泳ぐクジラは、私にとって自由の象徴です。私が描いたクジラは時空を超え、異次元の空を自在に泳ぐファンタジーな設定にしました。海につながる小樽運河の上空を浮遊するクジラを描くことで、私の心も自由に時を超えて旅することができる気がしました。細かいスクラッチは大変でしたが世界観は表現できたと思います。



推奨 美術 鉛筆デッサン 2年2組

作品の主題を「覚悟」にした理由は、この作品を描いたときに感じていた不安や孤独、プレッシャーに”打ち勝つ覚悟”をその時の等身大の自分として表現しました。「覚悟」をどう表現するか考え、敢えて画面に大きく堂々と自分を配置してみました。目線は遠くを見つめ、ポジティブに未来を見ているよう私の想いを込めて描きました。



推奨 美術 絵文字のデザイン 2年5組

「謎解きはディナーのあとで」東川篤哉著の物語を「解」という絵文字で表現しました。執事が事件の謎を解くという話を執事のシンボルを蝶ネクタイで描き、犯人と戦う場面で登場した特殊警棒などを構成してデザインしました。主人公の刑事がお嬢様の設定だったのでシャンデリアやテーブル、ワインボトルなど高級感のあるもの配置して表現しました。



推奨 書写 半紙作品 2年3組

私がこの作品で頑張ったことは行書の筆の流れ（筆脈）を意識し、線のつながりや流れを大切にして「深緑」の情景を鮮やかに、自然に見えるように表現して書いたところです。工夫したところは二文字の重心を見据えた字のバランスや線の強弱で、全体にまとまりが出るように意識して書きました。